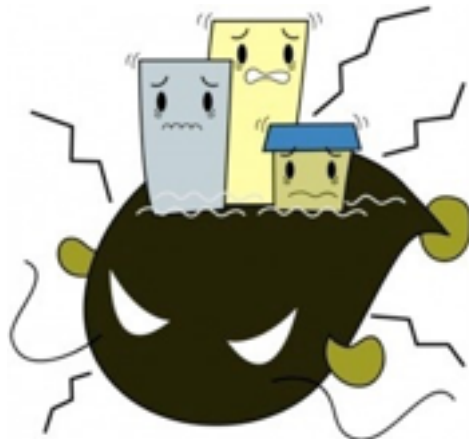


いざというときの 災害心得



もし透析中や自宅で災害にあったらどうしよう……
そんなときの対処方法を紹介いたします。

宮地医院での災害対策

東海地震は、震度6~7以上と予想され、地域によっては液状化や津波が懸念されています。透析治療を行うには、水と電気が必要なため、甚大な被害出るとライフラインがストップし、透析を行うことができません。

日々の注意事項を記載したため、参考にしてください。



<東海地震に関連する情報>

- ・調査情報、注意情報、予知情報があり、TVやラジオで発表されます。
- ・警戒宣言発令とともに公共機関も規制されます。

情報名	主な国・自治会防災対策	透析の有無	送迎バスの有無
調査情報	・防災対策はありません ※テレビ・ラジオ等の情報に注意して下さい	通常透析	通常送迎
注意情報	・地震に対する準備行動がとられます ※テレビ・ラジオ等の情報に注意し、行政の指示に従って下さい	変則透析 ※その日の透析は行いますが、今後の透析時間とクール変更をする場合があります	送迎バス停止 ・ご家族での送迎となります ※透析中に発令された場合、速やかにお迎えをお願いします
予知情報 警戒宣言発令	・地震対策警戒本部が設置されます ・危険地域からの住民避難や、交通、公共機関の規制、百貨店等の営業が停止されます ・テレビ、ラジオ等の情報に注意し、政府や自治体の指示に従って下さい ※デマの情報に気をつけて下さい	透析中止 ・透析中に発令された場合、透析を中止し、帰宅していただきます。 ・地震が発生した場合、救護所(清水第6中)に移動する場合があります。 ※救護所は変更になる場合もあります。	送迎バス停止 ・ご家族での送迎となります ※透析中に発令された場合、速やかにお迎えをお願いします

※地震注意情報や予知情報が発表された場合、情報に応じ透析スケジュール変更等の対応となりますので、当院の指示に従って下さい。

<災害時情報収集の方法>

- ・被災した場合電話が繋がらなくなります。
- ・以下の方法で当院の情報を確認して下さい。



①災害伝言ダイヤル

NTT安否確認システムの<災害伝言ダイヤル171番>を活用し、状況をお知らせします。

ご利用方法

「171」 → 「2」 → 「054 -364 -5528」

- ・当院からのメッセージが流れます。
- ・当院の被災状況、**透析が出来るか出来ないか確認でき次第録音します。**
- ・**患者様個人の安否情報の録音はしないで下さい。**メッセージを録音すると、宮地医院側からのメッセージが消去されてしまいます。

②ラジオ

NHK 静岡第一放送 AM 882 kHz
NHK FM静岡 FM 88.8 MHz

※情報収集時の注意点

- ・**透析が出来るか否かの情報は常に変わりますので、頻回に確認して下さい。**
- ・避難所に避難した場合、自分が透析患者である旨を行政の方に必ず伝えて下さい。
- ・災害伝言ダイヤルやラジオ等を確認せずに、当院に来院するのはやめて下さい。
- ・災害伝言ダイヤルやラジオで当院の情報が得られない場合は、避難所の行政の方に透析を受け入れ可能な病院を紹介してもらって下さい。



< 透析中に地震が発生した場合 >

地震が発生したら...まず

1. 落下物に備え毛布をかぶり、ベッド柵にしがみつき揺れがおさまるのを待って下さい。
転落防止のため、普段からベッド柵を上げておいて下さい。

離床している患者様は落下物のこない安全な
場所で動かず待っていて下さい。

慌てず、騒がず、スタッフの指示に従って下さい。

揺れがおさまったところで避難します。

2. 避難は緊急度によって異なり、次の通りに行います。

1) 比較的時間に余裕のあるとき (津波警報がなく、火災や倒壊の恐れのない場合)

・通常の返血を行います。

・針は残しキャップ使用し、血液回路から離脱。緊急離脱セットを腕に巻き、スタッフ誘導のもと避難開始します。

2) ただちに避難を要する場合 (津波警報発令、火災や倒壊の恐れがある場合)

・返血せずスタッフがはさみで回路を切断し離脱します。

・緊急離脱セットを腕に巻き、スタッフ誘導のもと避難開始します。

※避難する場所は、津波警報発令時は本館と別館の3F、建物の倒壊の恐れのある場合は当院駐車場、外が危険な場合は透析室に待機、と一番安全な場所へ避難します。

勝手に避難するのは非常に危険なため必ずスタッフ誘導のもと避難して下さい。

3. 避難場所に移動し点呼を行った後、針を抜きます。それまでは帰宅しないで下さい。

・その後、帰宅できる方は帰宅して頂き、帰宅困難な方は救護所に移動して頂きます。

・夜間帯で地震が発生した場合、帰宅困難者のみ救護所が立ち上がるまで当院に待機できます。

※当院は救護所ではないので宿泊はできません。

但し、夜間帯で地震が発生した場合、帰宅困難者のみ救護所が立ち上がるまで当院に待機できます。



< 宮地医院で透析が出来る場合 >

・災害伝言ダイヤルやラジオで確認し、当院の指示に従って来院して下さい。

(情報は当院玄関にも張り出す予定です)。

・**昼・夜含め、基本的にはその曜日の患者様のみの透析を行います。**

※被害状況によっては曜日のパターン変更や透析時間を短縮する場合があります。

※送迎バスは運行しませんので、ご家族の方による送迎をお願いします。



<送迎バスをご利用の患者様へ>

- ・東海地震における注意情報と予知情報が発令された場合、交通規制等により患者様の送迎が困難になる可能性が高い為、調査情報以外は送迎バスの運行を停止します。
- ・透析を行う場合は、**ご家族の方による送迎や公共機関の利用をお願い致します。**
- ・又、透析治療中の注意情報、及び予知情報が発令した場合、ご帰宅は**ご家族の方によるお迎えをお願い致します。**



<避難生活の注意点>

- ・避難所での生活は食事・水分の管理に十分注意して下さい。
- ・やむを得ず透析が受けられない場合は、災害時用カリウム吸着剤を活用して下さい。
 - ※**災害時用カリウム吸着剤**は、任意で自費購入していただいております。
 - ※すでにお持ちの方は有効期限の確認をしてください。
 - ※ご購入希望の方又聞きたい事がある場合は当院薬剤師、またはスタッフにお申し付け下さい。
 - ※尚、当院に薬剤のストックはありません。

- ・**エコノミー症候群**予防のため、避難所では頻回に体を動かして下さい。

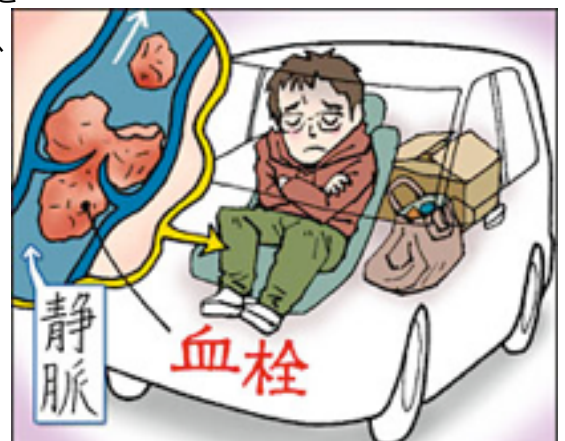
車中泊は特に危険です

※エコノミー症候群とは・・・

- ・長時間同じ姿勢で座ったままの状態になっていることで、足の血管の流れが悪くなり、静脈血栓という血液のかたまりができてしまうことが原因で起こります。

- ・この静脈血栓ができた状態で歩き出すと、それをきっかけに血栓が血液の流れによって体の上部、肺の動脈までいき、塞いでしまいます。

- ・その結果呼吸困難や窒息状態に陥り、失神や突然死という危険性もあります。



<緊急時に備え、普段から心掛けておいて欲しいこと>

- ・日頃から自分の透析条件(基礎体重、透析時間、血流量、ダイアライザーなどを記載した手帳)を常に携帯しておいて下さい。

- ・災害時食事マニュアル
- ・災害手帳
- ・緊急時用透析カード



- ・お薬手帳を持っている方は、お薬手帳を常に携帯しておいて下さい。

お薬手帳を持っていない方は、定期処方と一緒に添付されている薬剤情報提供書(薬剤説明書)を携帯しておいて下さい。

<その他>

- ・当院は避難所ではない為、食糧の備蓄はありません。
- ・台風等で帰宅困難時、当院に宿泊はできません。

遠方に住んでいる方は・・・

当院に来院出来ない場合も考え、あらかじめ近隣の透析施設を確認しておいて下さい。
自宅に帰宅出来ない場合も考え、宿泊できる場所(知人や親戚等)を確保しておいて下さい。

- ・緊急連絡先(携帯番号等)が変更になった場合、必ずスタッフに報告して下さい。

